



# 高坂七清水と 高坂丘陵緑地

---

---

なぎ

---

# 高坂七清水

---

## 順路

池袋→(東武東上線50分)→高坂駅

高坂駅→宮鼻の清水→寺下の清水(青蓮寺)→中形の清水→大下の清水→観音下の清水(世明寿寺)→折本山緑地→ピオニウォーク→東光院下の清水→七清水せせらぎ緑道→高済寺下の清水→(時間があれば川風の散歩道、都幾川リバーサイドパーク)→高坂駅

[⇒高坂駅付近の地図](#)

[⇒ウォーキング・マップ\(東松山市\)](#)



**高坂駅』** 駅前には大きなエンジュの木があり、7月にはたくさん花をつけます。



エンジュ(高坂駅・7月)





エンジュの花(7月)【槐】

中国原産 *Styphnolobium japonicum* {マメ科エンジュ属／落葉高木}



エンジュの葉



エンジュの幹





シロザ(高坂駅付近・7月)【白藜】 若葉は食べることができます。若葉が赤くなる種はアカザと呼ばれ変種扱いです。 *Chenopodium album* {ヒユ科アカザ属／1年草}



シロザの葉裏』 葉裏や出てばかりの葉は粉を吹いたような白色になります。



ここを右に曲がる』 宮鼻の清水に行くにはこの分岐を右に行きます。





『宮鼻の清水』 ここは看板があるのでそれを目印にすると良いでしょう。清水は看板の裏側に隠れています。



『宮鼻の清水』 ここでは野菜を洗うなど生活に使われていたそうです。(現在でもつかわれている?) )



『宮鼻の清水』 誰かが放流したのでしょうか。金魚が泳いでいます。





宮鼻の清水付近



『寺下の清水』 ここはホテアオイの栽培場になってしまっているようです。くりから不動尊があります。



ホテアオイ(寺下の清水・7月)





ホテアオイ



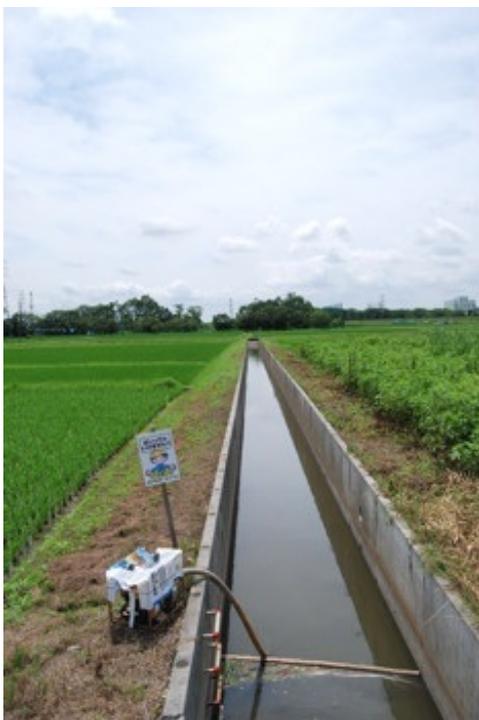
青蓮寺



青蓮寺からの眺望



『中形の清水』 ここは奥まった場所にあり、わかりづらかったです。貯水場みたいになっているだけで何もありません。



木下の清水付近



『木下の清水』 地図からするとこのあたりなのですが、ほんとうにここが木下の清水なのかは自身がありません。





『観音下の清水付近』 この辺は広い田んぼが広がっていて景色が良いです。



『観音下の清水』 入口に手作りの小さな標識があります。ここも発見しづらい場所です。



『観音下の清水』 どうやらここが目的の清水のようです。地層から水が染み出ているだけで水量は少ないです。手掘りの清水で市指定天然記念物?だそうです。



世明寿寺



高坂神社付近』 折本山緑地、高坂神社を通り、ピオニウォークに向います。



ケースデンキ付近



ピオニーウォーク』 ここはショッピング・モール。昼食はこの中にあるフードコートをお勧めします。





東光院下の清水』 ここもわかりづらいかな。斜面沿いに降りていく場所があります。



東光院下の清水





七清水せせらぎ緑道



高済寺下の清水



川風の散歩道』

時間があれば都幾川沿いの遊歩道を散策すると良いです。川沿いの道は景色が良いです。散策が終わったら高坂駅から帰ります。



国道407、都幾川





都幾川(とかがわ)

## 高坂駅からちご沢

---

### 順路

池袋→(東武東上線50分)→高坂駅→(バスまたは徒歩)→動物園前

動物園前→ちご沢→ちご沢の森→千年谷公園→松風公園→動物園前

※高坂駅から動物園(こども動物自然公園)までは歩ける距離ですが、路線バスもあります。もしバスを使うのであれば高坂駅前から「鳩山ニュータウン行き」、または「にっさい花みずき行き」に乗り、「こども動物公園」で降りてください。

### [⇒高坂付近の地図](#)



高坂駅』 さあここからスタートです。



高坂駅からの眺望





カタバミ【片喰】(動物園付近・4月) 名前の由来は、夜に葉が閉じているようすが、半分になっ  
てしまっているように見えるため。 {カタバミ科カタバミ属／多年草}



カタバミの葉』 昼なのですが半分閉じていました。



クサイチゴ』 動物園のすぐ横の道をとおりちご沢に向います。





クサイチゴ



モミジイチゴの芽生え



なかよし橋(こども動物自然公園)



ちご沢』 農業用水路沿いを歩きます。この周辺は里山風景です。





ちご沢』 今まで水路の右を歩きましたが、この橋より先は水路の左を歩きます。



ちご沢



キランソウ(ちご沢・4月) 別名:ジゴクノカマノフタ





アケビ(ちご沢・4月) ミツバアケビは3小葉、アケビは5小葉で据齒なし、ゴヨウアケビは5小葉で据齒あります。



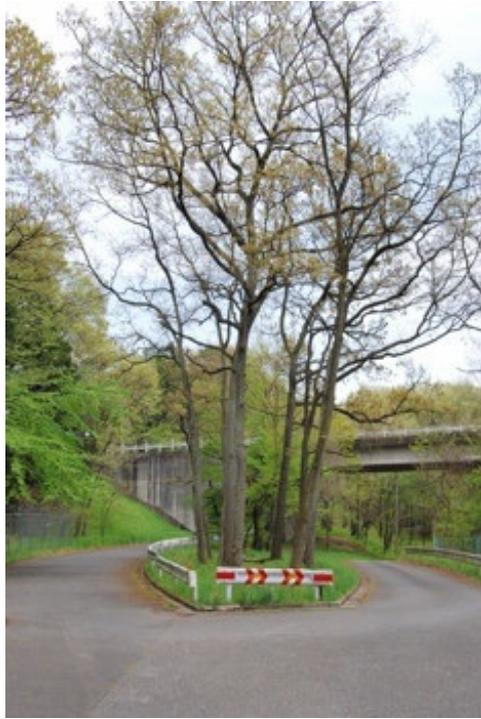
アケビの花



アケビの葉裏』 据齒の有無を見ます。葉の縁はつるんとしていて据齒なしです。ゴヨウアケビの据齒は振幅が小さいので気をつけないと見落としてしまいます。



**アオダイショウ(ちご沢)** 大きなヘビが柵の上にはいました。まだ冬眠から目覚めたばかりなのででしょうか、触ってもあまり動きませんでした。



**ちご沢の森への入口』** この入口には看板がないので分りにくいです。ここを左に分岐して曲がりくねった坂を登ります。T字路にぶつかった所で右に行くとちご沢の森、左に行くと大東文化大学方面です。ちご沢の森を1回りしてからこのT字路に戻り、その後大東文化大学に向います。



ちご沢の森(高坂丘陵3号緑地)



ハハコグサ(ちご沢の森・4月) 葉の表面に白い綿毛がたくさん生えているので見分けやすいです

。



ゴヨウアケビの芽生え(ちご沢の森・4月) アケビとミツバアケビの雑種。葉の形を注意してみると低い据歯があります。





ジシバリの芽生え(ちご沢の森・4月) ジシバリとオオジシバリは良く似ています。ジシバリは葉の形が丸っこく、全体的に小型です。



オオジシバリの芽生え』 オオジシバリの葉はへら形で細長い。



**千年谷公園(高坂丘陵2号緑地)** 公園の東側には、テニスコートやトイレがあります。公園の西側は自然散策となっています。



**山の辺橋(千年谷公園)** この公園の中央には池と水路があり、「山の辺橋」、「松ノ木橋」という大きな橋がかかっています。



**ウワミズザクラ【上溝桜】(千年谷公園・4月)** ウワミズザクラは花序のすぐ下に葉がつく、イヌ

ザクラはこれがない。 {バラ科ウワミズザクラ属／落葉高木}



ウワミズザクラの葉表



ウワミズザクラの葉裏





スミレ(松風公園・4月)



松風公園(高坂丘陵1号緑地) ここは西側が自然散策、東側にはアスレチックのような遊戯施設、トイレがあります。水路にはキショウブが植栽されています。



フジ(松風公園・4月)





フジのつぼみ



フジの芽出し





岩殿付近』 行きに通った道より1本東側、川沿いにはサイクリングロードがあります。ここを  
通って動物園前まで戻ります。



岩殿付近

## 市民の森

---

今回は以下の経路で散策しました。バスは高坂駅から鳩山ニュータウン行きに乗り大東文化大学バス停で下車です。健脚の方は全工程徒歩でもいけると思います。

### 順路

高坂駅→(路線バス)→大東文化大学バス停→市民の森→入山沼→巖殿観音→鳴かすの池→高坂駅



市民の森・入口』 ここから右に分岐し森に入り、入山沼を目指します。



市民の森・入口



市民の森・あずまや





露頭(市民の森)



市民の森』 ここは落葉樹が多いので明るく気持ちが良いです。



**入山沼』** ここは道を間違えやすい場所です。沼の周りを半周して右に曲がります。その場所に標識があるのですが壊れていて文字が読めません。



**田園(入山沼の先)** 沼の先は急に開けて、明るくなります。この周辺は田園風景です。右側に注意し、観光用の標識で右に曲がり、やぶのような道に入っていきます。



ニガナ【苦菜】(市民の森・5月)

*Ixeridium dentatum* {キク科ニガナ属／多年草}



『ニガナの花』 この季節は黄色の似た花が多いので花びらの枚数を数えておきましょう。花びらは5～7枚がニガナ。8～10枚ならハナニガナ、15～25枚と多いのはノニガナ。



## ニガナの花裏



『ニガナの根生葉』 上のほうの茎についている葉と根元にある葉は形が異なります。上の方の葉は茎をだきます。根生葉は、長楕円形で基部の方に突起があります。葉柄が長い。



ニガナの根生葉(裏)



『ニガナの根生葉(大きく切れ込むタイプ)』 葉は、形の変異が大きい。このように大きく切れ込むことがあります。図鑑では1~2つの写真しか載っていないので、形のばらつきがどのくらいあるかわかりません。フィールド(屋外)で多くの個体を観察することが重要です。

## オヤブジラミ



オヤブジラミ【藪虱】(市民の森・5月)

ヤブジラミとオヤブジラミは似ています。ヤブジラミは花柄／果柄が短い、葉は2～3回羽状複葉。オヤブジラミの花色は白で部分的に紫を帯びる。花柄／果柄が長い、葉は3回3出羽状複葉。

花期は5～6月 *Torilis scabra* {セリ科ヤブジラミ属／越年草}



オヤブジラミの実』 この写真は緑色だが毛が紫を帯びることがある。



オヤブジラミの葉表





オヤブジラミの葉裏

## ヒメコウゾ



ヒメコウゾ【姫楮】(大東文化大学付近・5月)

似た植物にカジノキ、コウゾがあります。これらは雌雄異株。この写真は1つの株に雄花と雌花があったのでヒメコウゾです。(コウゾは雑種なので雌雄異株になる場合、雌雄同株になる場合があるらしい?) 花の咲いていない時期に見分けるのは難しいです。学名がカジノキになっているのは昔はカジノキ、コウゾ、ヒメコウゾの見分けができていなかったなごりだそうです(いまさら学名を変更できない)。 花期は4~5月 雌雄同株・雌雄異花 *Broussonetia kazinoki* {クワ科コウゾ属/落葉低木}



ヒメコウゾの雌花』 ポンポンみたいなのがめばな。



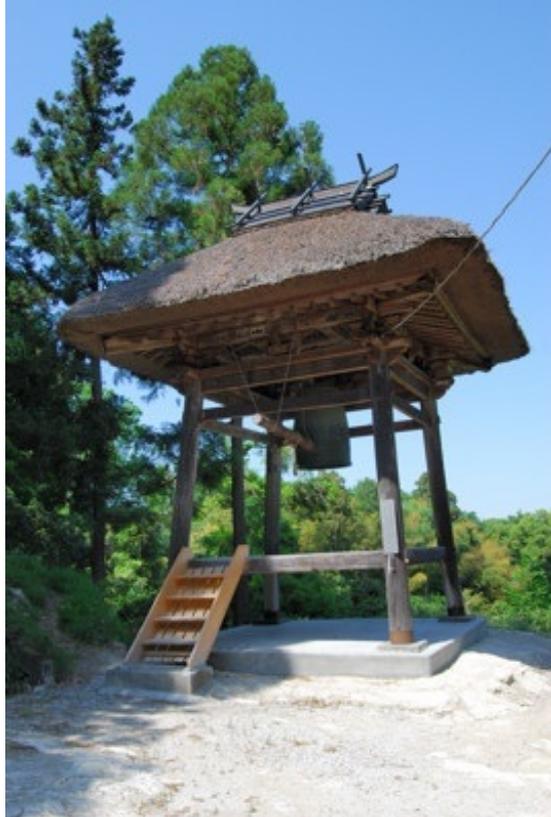
『ヒメコウゾの雄花』 黄色いつぶつぶが見えるのがおぼな。この写真は花粉を出し終わったところ。若いおぼなは緑色で球形をしています(果実みたいに見えるが果実ではない)。ちなみにカジノキの雄花は長細い形。



『ヒメコウゾの葉表』 葉の形には変異が大きく、裂ける形になる場合があります。ただカジノキほど大きく裂けないような気がします。鋸葉は細かい。ヒメコウゾの葉柄は0.5から1cmと短い。カジノキの葉柄は3から10cmと長い。コウゾはこれらの中で1から3cm。



『ヒメコウゾの葉裏』 葉はカジノキより薄い。葉脈の所にわずかに毛があるぐらいです。カジノキは厚紙みたい、触るとざらざらし、葉裏に綿毛があります。図鑑で見ただけでは葉の質感や大きさを実感できません。フィールドで実物を触ってみることは大切です。



『**正法寺の銅鐘**』 巖殿観音・正法寺を見てから「鳴かすの池(弁天沼)」に向います。この時、大東文化大学の横の道ではなく、正法寺・巖殿観音の参道をとおります。川と大通りを渡ると巖殿観音参道の看板があるのでそこはまっすぐ。道なりに行くとすぐ鳴かすの池です。



『**鳴かすの池(弁天沼)**』 カエルが住んでいないので鳴かすの池だそうです。



## 鳴かずの池・あずまや



エノキ(鳴かずの池・5月) 池のすぐ近くに老木があります。松山市の名木に指定されているそうです。高さはさほど高くありません。



エノキの幹





『エノキの根元』 樹皮の色、根元のボコボコした所に年齢を感じさせます。  
帰りは徒歩で高坂駅まで帰りました。

## 埼玉ピースミュージアム、物見山

---

時間があれば、埼玉ピースミュージアム、物見山にも寄って行くとよいでしょう。



埼玉ピースミュージアムの展望塔



埼玉ピースミュージアム』  
⇒埼玉ピースミュージアム

主に太平洋戦争当時の日本の状況を展示しています。入場無料





物見山山頂のあずまや』

ここはツツジがたくさん植栽されているので4月下旬に行くときれいだ  
と思います。



物見山からの眺望



ネジバナ【振花】(埼玉ピースミュージアム付近・7月)

*Spiranthes sinensis* var. *amoena* {ラン科ネジバナ属／多年草}



『ネジバナの根生葉』 ネジバナは通常、芝地に生えるので根生葉は観察しづらいのですが、この個体は独立して見やすかったので記録しました。



ネジバナの葉表



ネジバナの葉裏

## こども動物自然公園(前半)

---

今回はこども動物自然公園に行ってきました。ここは動物とのふれあいがテーマになっていて放し飼いになっているエリアがあります。コアラとカピバラ温泉が目玉です。

### 交通

高坂駅から「鳩山ニュータウン行き」バスに乗車し、「こども動物自然公園」バス停下車。

[⇒こども動物自然公園](#)

[⇒こども動物自然公園付近の地図](#)



こども動物自然公園正門





天馬の塔



レストラン・ガゼボ



坦々風カツ丼(レストラン・ガゼボ)



コアラ舎



『コアラ』 昼間は寝ていることが多く、遠くからしか見られませんでした。



カモシカ



恐竜コーナー



『ワラビー』 ここは動物のいるエリアに人が入っていくことができます。ただし人は園路から出てはいけないルールとなっています。ほとんどの動物は人から遠い柵の付近に集まっていますが時々園路に出てくる個体もいます。



『カピバラ温泉』 この動物園の名物、カピバラのお風呂です。季節や時間限定なのでやっているかどうかは公式ホームページを確認してください。この日は午後2時からお湯を入れますとなりました。



カピバラ』 温泉をやっていない時は干草の上で寝転んでいます。



マーラー』 放し飼いになっている動物の1つ。ただあまり人になれてはいないので触ろうとすると逃げてしまいます。



ペンギン・ヒルズ』 有料でペンギンにえさをあげることができます。要時間チェック



『ファンボルトペンギン』 園路に出てきたペンギン。眠そうでした。



シマウマ



『ビアトリスポター資料館』 ピーターラビットの作者についての展示がしてあります。

# 高坂七清水と高坂丘陵緑地

<http://p.booklog.jp/book/97410>

著者のweb <http://homepage1.nifty.com/x6/>

私が書いた書籍

[逆引き電子回路図集](#) 秀和システム/ISBN:978-4-7980-2605-3/A5 2色272ページ/2,625円(税込)

[電子部品図鑑](#) 誠文堂新光社/ISBN : 978-4-416-10701-0/B5変形/256ページ/ 3,150 円(税込)

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/97410>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/97410>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ

| [総目次\(ホーム\)](#) | [昭和記念公園](#) | [新宿御苑](#) | [高坂七清水](#) | [さいたま緑の森博物館](#) | [飯能川原と天覧山](#) | [吉見百穴と川幅日本一](#) | [カタクリと見晴らしの丘公園](#) | [越生梅林・ふれあいの里山](#) | [春\(無料版\)](#) | [夏\(無料版\)](#) | [秋\(無料版\)](#) | [森林公園・春](#) | [森林公園・夏](#) | [森林公園・秋](#) | [森林公園・冬](#) | [森林公園・もみじ見ナイト](#) | [天神山・鐘撞堂山](#) | [高麗川・巾着田](#) | [高麗川ふるさと遊歩道](#) | [電子工作](#) | [開発用言語](#) | [開発ツール](#) | [風景写真](#) | [ミクロの世界](#) | [製品](#) | [料理](#) | [パンク修理](#) | [インフォメーション](#) | [個人情報の取り扱い](#) | [写真の問い合わせ](#) |